

有機フッ素化合物 (PFAS)

870万ng/L

黄檗の自衛隊基地で基準値の17万倍を検出

宇治浄水場で49ng/L、近隣井戸で基準値の1.3倍を検出

五ヶ庄

PFOS・PFOA等の有機フッ素化合物(PFAS)が問題になっています。これらについては、腎がんや乳児・胎児の成長発達への影響があり、国際条約で製造・使用・輸入が禁止されています。国は暫定基準値を50ng(ナノグラム)/Lを定めています。黄檗の自衛隊基地で基準値の17万倍を超えるPFOS等が検出され、隣接する宇治浄水場で49ng/L(22年度)、近隣井戸で基準値の1.3倍が検出されています。

各地の自衛隊基地や駐留米軍基地で、国の暫定基準を超えるPFASが検出され、大問題になっています。航空機火災等に対応する泡消化剤等に使われていました。

防衛省が2022年7月22日に公表した調査では、宇治駐とん地(黄檗)の泡消化設備専用水槽から870万ng/Lを検出しています。基準の17万倍でした。

党議員が、市議会の9月定例会の一般質問で質すと、宇治市は「近畿中部防衛局に確認をしたところ、泡消化剤の訓練は実施していない。点検時に漏れるようなことはしていない。水槽内のPFOS等の処分は2022年度末に適切に対応しているとのことだった」と答弁。

宇治の浄水場の検査については、「2023年度の検査では、宇治浄水場33ng/L、西小倉浄水場は28ng/L、広野浄水場は11ng/L」と答弁。

共産党の水谷府会議員が、府議会でこのことを追及すると、府の担当課長は「処分先について現時点では把握していない」と無責任な答弁。

処分にはマニフェストが必要との国の通知があるにもかかわらず把握していないのは問題です。

水谷府会議員が「宇治浄水場の地下100mで取水した原水が暫定基準近い数値だ。周辺の井戸や中小河川も検査すべき」と求めると、府は「念のため、宇治駐とん地自衛隊の500mの範囲の井戸6箇所を検査したところ2箇所ですべて暫定基準の1.3倍程度のPFOSが検出された。現在、飲用していないが、改めて飲用しないように注意喚起した」と答弁。

宇治市は、京都府と連携し情報の共有を図るとともに、自衛隊に情報公開を求め、住民に情報を正しく伝えるべきです。

宇治駐屯地(黄檗)

大量のPFAS

暫定目標値の17万倍

自衛隊施設における消防火設備
原用泡消水質検査結果について
水槽水の調査結果一貫から

施設名	調査対象	
	水種	PFOS及びPFOAの 含有量(単位:ng/L)
宇治駐屯地	?	960 8,700,000

令和4年7月22日 防衛省

暫定目標値(日本)

PFOS及びPFOAの合算値で
50ng/L(ナノグラム/リットル)

工事中の安全、児童生徒の教育環境をどのように確保するのか？ 市は「検討中」と言いながら、「12月までに南小倉小跡地 は売却をきめる」のは、順番が違う。

【西小倉地域小中一貫校】

「(仮称)西小倉地域小中一貫校」の建設工事がまもなく始まろうとしています。開校は26年4月ですが、その後、旧校舎の解体とグラウンド整備に1年半程かかり、工事期間は3年半です。その間、児童生徒はグラウンドが使えません。

保護者からは、工事中の安全と児童生徒のグラウンドの確保の要望が出されていますが、市教

委は「検討中」と言い続けています。

その一方で、市は統廃合する学校の跡地の利活用について、「12月を目途に南小倉小学校は民間事業者へ売却」などの基本方針を決めようとしています。保護者や地域から、「順番が違う、まず、子ども達の教育環境をどう守るのが先だ」との声がだされています。

市議員への
お声はこちら



日本共産党
宇治市議員団

2023年10月8日

宇治市宇治琵琶33 宇治市役所内

TEL : 0774-22-3141(内線2817) FAX : 0774-24-7884